

# 出張スマホ教室のご案内

スマホでラジオ  
聞いてみたい!

防災・ニュースの  
アプリも楽しみた  
い!

動画で簡単な健康体操  
を調べてみたい!

インターネット  
検索にチャレン  
ジ!



毎回ご好評いただいている【シニアスマホ教室】のお知らせです。  
第4弾は宮城野地区での開催ですが、どの地区にお住いの方でも参加可能  
です!

前回参加された方も、スマートフォンをお持ちでない方でも、この機会に  
是非ご参加ください。スマートフォンについての質問もお答えしています。

① 11月27日(月) 入門編 時間: 10時30分~12時30分  
総合保健福祉センターさくら館

電話のかけ方、文字入力、ショートメールの送り方、詐欺メールの対処法  
写真・動画の撮影の仕方など

② 12月15日(金) 基本編 時間: 10時30分~12時30分  
総合保健福祉センターさくら館

インターネット検索の仕方、アプリの楽しみ方や注意事項、Wi-Fiについてなど

※ 完全予約制 各回とも先着10名

①、②は1回のみでもすべてでも参加可能です。

写真を整理したいな

広告が多くて困るわ

申し込み お問い合わせ先  
箱根町地域包括支援センター

☎ 85-3002 お気軽にどうぞ!



※共催: 箱根町企画観光部企画課  
デジタル推進係

講師 株式会社 アバストミヤケ

みんなで楽しむ!

# 芦／湖サロン

芦／湖サロンは地域の人たちの参加で作り上げる、みんなが気軽に集まれる場所です。あなたも参加して一緒に芦／湖サロンを楽しい会にしませんか？  
気軽に集まれる場所が近所にあるっていいですね。



**日時：令和5年11月15日（水） 11：00～**

**場所：元箱根集会所集合**

**内容：みんなで豚汁他お楽しみを  
食べましょう！！**

**参加費：お茶代として一人100円**

**（内容により変更するときがあります）**



**お問い合わせ：箱根町社会福祉協議会 担当：山口**

**電話番号 → 85-9000**

11/30～  
オープン

箱根  
まらなか図書館

本の貸出  
無料

仙石原の飲食店/公共施設10ヶ所に、ミニ図書館を設置！  
本や人との出会いを通して、世界を広げられるまちに

図書館作りワークショップ開催

参加者募集中



日時：11月22日(水)

午前：10:00-13:00

午後：14:00-17:00

場所：仙石原いこいの家

(箱根町仙石原870 / 仙石原文化センターの隣の町営温泉)

申込：LINEからご連絡ください(または以下URL)

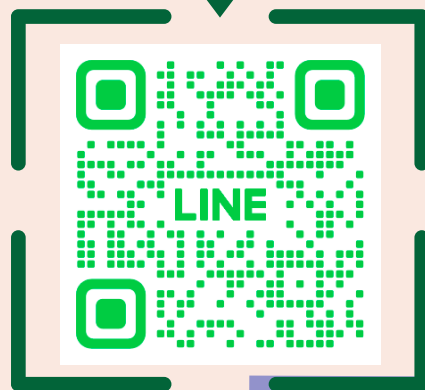
<https://www.hakone-asobi-net.com/post/diyws1122>

＼みんなでワイワイ/  
この本棚を作ります！  
簡単！初心者OK

図書館におく **本のご寄付** もお待ちしております！

【本の送付先】本喫茶わかば  
〒250-0631 箱根町仙石原817-267

SCAN ME



申込・問合せはこちら！  
最新情報もお届け

企画・運営：箱根あそびネット  
ホームページ：<https://www.hakone-asobi-net.com/>  
ご連絡先：mortal726@gmail.com (五井漣 / 西岡)

若年性認知症のご本人・ご家族・携わっている皆様の交流の場です  
皆様の参加をお待ちしております

E-O-D (早期若年発症の認知症)

# Friendship Cafe

参加費:不要

2023  
11/14 (火)  
10:00~11:30

**会場** 小田原市生涯学習センターけやき2階  
大会議室(小田原市荻窪300)

**申込先** 小田原市高齢介護課  
☎0465-33-1864  
電話にてお申し込みお願いします



**内容** 認知症の方を介護していたご家族の体験談・  
頭の体操・交流会など

体調が優れない時は参加をお控えください。感染症予防へのご協力をお願いいたします。急遽中止になる場合があります。

小田原・箱根・真鶴・湯河原の  
一市三町若年性認知症を考える会

問い合わせ先 若年性認知症支援コーディネーター田中  
0465-42-1630(曾我病院代表)





## 宮城野げんきつこたより 10月号



芋ほり遠足でもらってきた  
芋のツルをリースに！  
12月に子ども達が作ります。  
お楽しみに！

令和5年10月11日発行

### 箱根教育 合言葉

箱根を愛し かしく やさしく たくましく

気持ちの良い秋の季節がやってきました。宮城野保育園は運動遊びが今年の研究テーマです。登園すると保育室からすぐに園庭へ。幼児は、昨日の遊びの続きや今日挑戦したいことが園庭の環境の中にあります。友達が次々に登園すると、嬉しそうに誘い合って遊びがどんどん展開していきます。乳児の最近のお気に入り、旧園舎の上にあった公園跡地です。そこは草むらになっていて、色々な虫を発見できます。秋ならではの体験を毎日楽しんでいきます。

#### 箱根の森小学校5年生と交流

10/6 箱根の森小学校の5年生とさくら組が力を合わせ、大玉転がしの競技を楽しみました。箱根町では、園と小学校の学びのつながりを大事にしています。5年生の交流は今回の他に、学校に招待され、絵本の読み聞かせや一緒に折り紙を折ったりゲームをしたりとさくら組がどのようにしたら喜んでくれるだろうという視点で、5年生が遊びを考え楽しい時間を過ごしています。運動会の競技も今年の5年生がさくら組とやってみたくて生まれた競技でした。手をつないで一緒に歩いたり、相手の気持ちを知らうと、かがんで表情を読み取ろうとしてくれたり、年長児に合わせてボールを運ばせてくれたりととてもやさしい対応に子どもたちは安心して参加できました。来年は6年生として、さくら組は一年生として学校生活がより安心して楽しく過ごせる期待が膨らみました。今週末には、宮城野保育園の保育参加があります。一年生に「おまねき」を渡しにいきました。きっと生き生きとした姿を見せてくれるでしょう。園と学校のつながりを大切に、保育をすすめていきます。



#### 9/28 芋ほり遠足(3.4.5歳児)

子ども達がまず嬉しかったこと。それは貸切大型バスに乗ったこと！貸切ならではの、大きな声で友達と歌を歌ったり、先生が出すクイズに答えたりとバスの中で気持ちは最高潮に！芋ほり畑に着くと、緑の葉っぱで覆われた畝を見て、子ども達は「おいもは？どこ？」と言う表情をしていました。「さつまのおいも」という絵本の中に芋のツルを綱引きのように引っ張る絵があります。「えほんとおんなじ！」と喜び、「うんとこしょ、どっこいしょ」と掛け声をかけ引っ張ったら、勢い余ってしりもちをドーンとつき、周りの友達と大笑いという一コマもありました。年齢それぞれの芋との対峙があり、3歳児は一本をとって大満足。お家の人が作ったお弁当が楽しみすぎて、芋ほりは早々終了する姿。4歳児は畑のおじさんに、「2.5キロはもつと掘ってこない！」と言われ、ビニール袋いっぱいになるまで何往復もする姿。5歳児は乳児のクラスの分もと、畑の奥まで突き進みなかなか戻ってこないほど最後まで夢中で掘っていました。2.5キロはどのくらい重い？と量りで重さを計測する体験もできました。



#### 9/25 アウトドア体験と親子遠足(5歳児)

身近にある杉の葉や木で焚火をして、一人一つカップのなかでハヤシライスを作りました。焚火も料理もアウトドアのプロ(愛称チュンチュンさん)に教わり、子ども達は普段なかなかできない体験を存分に楽しみました。その後、関所・恩賜公園に行き、海賊船やバスに乗車して箱根を満喫してきました。秋は体験がいっぱいですね。感謝しながら子ども達と楽しみたいです。







# す ま い る

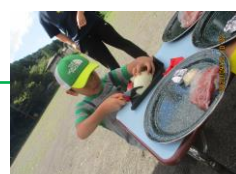
箱根教育合言葉 「箱根を愛し、かしこく やさしく たくましく」



「先生！空を見て！秋の空だよ！」澄み渡った青空に秋の雲がきれいに浮かんでいます。子ども達はそれを敏感に感じ取り「恐竜の雲があるよ」などと口々に伝えてきてくれます。富士山に初冠雪があった朝も早速教えてくれました。芦ノ湖クリーン大作戦の日は湖周辺のゴミ拾いをしながら、「今日は湖の水が少ないね。」「私は、ピンクのスワンボートに乗りたいな。」「幼稚園のみんなで競争したら楽しいよね。」「そんな会話をしながら身近な自然や地域に関心を深めながらゴミ拾いを乐みます。地域の方の「ご苦労様」の声に励まされ、子ども達の心の中に地域の一員としての役割を持たされているような誇らしい気持ちも芽生えているようでした。気持ちの良い季節を迎え、豊かな実体験を通して、様々なものとの出会いに心を揺れ動かし、じっくり考えたり、相手と心を通わせたりしながら学びを広げていきたいと思ひます。

## ゴールドウィンとの連携活動・5歳児野外体験

昨年「地域活性化に関する包括連携協定」を締結したゴールドウィンと今年も箱根幼稚園の園庭を会場にして、町内の5歳児とその保護者が集まりアウトドア(火おこしと調理)体験を行いました。講師はアウトドアコーディネーターのちゅんちゅんこと小雀陣二さんです。優しい語り口調で火の大切さや怖さを伝えます。自分達が集めた杉の葉、枝、間伐材を利用した大きめの薪。ちゅんちゅんの話聞き、火おこしの順番を知り、焚火台に置きます。そこに火がつくと子ども達の顔が一瞬にして真剣な表情になります。燃え上がる炎に驚いたり、煙に目をしばたいたりしながらのクッキングです。包丁は、何度か体験している子ども達ですが、玉ねぎを切る時は慎重になります。午前中は、「ハヤシライス」づくり。家庭のガスや電気とは違い、煙や熱さに向き合いながらのクッキングです。必死に手で顔を覆いながらそれでも一生懸命鍋をかき混ぜている姿が印象的でした。炊き立てのご飯も分けてもらい、ハヤシルーをかけ食べました。少しおこげのあるご飯とアツアツのルーと焚火の香りや空の青さ、大好きな友達や保護者の方との昼食は、特別なものになったようです。午後は、ホットサンドメーカーを焚火に乗せガトーショコラづくりです。カップの中で卵を割り、材料を混ぜ、ホットサンドメーカーを時折ひっくり返しながらかつたガトーショコラ。お店のものとは完成度が違いますが、「めちゃくちゃ美味しい！！」と満足げな表情です。それを見守る保護者の方はもちろん、ゴールドウィンや箱根DMOのスタッフ、箱根町役場の職員と子どもを囲む大人の方の温かな表情や声掛けに、子どもは安心感もち、ゆっくりと和やかな時間が流れていました。ゴールドウィンの持つアウトドアを通じた体験や学びに関する知見と箱根町の持つ自然環境の双方の資源を有効活用したこの活動をこれからも継続し、子ども達の五感を通じた教育と箱根の良さを内外に知らせていきたいと思ひます。



9月29日は中秋の名月。幼稚園では、園庭で水引やすすき、ノコンギクなどの秋の草花を摘み、一人一人瓶に生けました。3歳児でも「自分はこの花がいい」と選んでこだわりをもって摘む姿や瓶の中に砂利を入れ、生け方を工夫する5歳児の姿がありました。その後は、上新粉でお団子づくり。摘み団子やウサギを作りました。上新粉にお湯を入れると香りがたち、子ども達は「いい匂い」「お米のにおいだ」と気付いたことを互いに伝え合いながらお団子づくりを楽しんでいました。四季のある日本には、季節ごとに日本ならではの文化があります。当日は、あいにくの天気で、雨が止んだ頃は、子ども達はすっかり夢の中だったでしょうか？きれいな満月の前には、子ども達の摘んだ秋の草花とお団子が飾られたでしょうか？十五夜に満月になるには7年後になるそうです。その頃、幼稚園で行った体験も一緒に思い出してくれたら嬉しいです。この日のおやつは、きな粉だんご。まさしく五感で楽しめた1日でした。

「みんなでたのしく、ちょっとむずかしいけど、ハラハラ・ドキドキうんどうあそびのひ」

運動会にもあたる箱根幼稚園の運動遊びの日は、土曜日に開催し、卒園した1年から3年生や未就園児にも協力してもらい、にぎやかに行われました。「先生たちが勝手に決めないで！」という年長児の言葉には、自分達で考え作っていききたいという思いが伺えます。もちろんどんな時も子どもと話し合ってきましたが…。そこでより日常の子ども主体の保育が活かされるようにと「子ども達のやりたいこと」を中心にした行事になるよう心がけました。子どもの発想は、運動会というものに収まらず「畑まで走って雑草を抜いて野菜を収穫してくる。」そんな日常の体験が今年には競技になりました。その他、水風船親子競争も今年ならではの競技。もちろん縄跳びや跳び箱、鉄棒と自分の得意なことを見せたいという気持ちもあり出来る、出来ないではなく、それぞれの良さが伝わるよう担任が構成をしました。小学生には、用具の準備やゴールテープ係、そしてリレー等の競技にも参加してもらいました。子ども達が考えたこのテーマに迫られたのではないのでしょうか？



## 箱根の森小学校運動会参加

毎年、年長児は箱根の森小学校の運動会に参加させていただきます。ペアになった5年生と一緒に「大玉転がし」の競技を楽しみました。ペアになった5年生とは、入学まで関わりを深めていきます。「大丈夫だよ。一緒にやろうね。」などの優しい声掛けに安心感を持ちます。先生方の「おはよう！」「いらっしやい。」の声に親しみを感じます。小学校の校庭の広さやそこで行われた競技や表現に園児も刺激を受け、リズムよくボックスを踏んでみたり、運動会后、広い校庭のトラックを走ってみたりしていました。交流の機会を通し、就学への期待や安心感を膨らませているところです。箱根町は園・小・中学校のつながりが強い町だと感じています。一人の子の成長をずっと見守っていけることはこの町の強みです。今年も連携しながら、子どもの育ちをつなげ、安心して過ごせるように園からも発信していきたいと思ひます。

### さくら組親子山登り「頑張った富士見ヶ丘」

10/12快晴の中、年長児の親子山登りが行われました。湖尻キャンプ場近くの駐車場に集合し、箱根体操で体をほぐし、出発です。登り口のクマの看板に少し驚きながらも途中落ちていゝる桜の葉を拾い、葉を嗅いでみると「あ、桜餅のにおい。」と。枯れている葉にも香りはちゃんと残っているのですね。50メートルごとにある番号札を目指して歩みを進めていきます。金子森さんのガイドでゆっくりと進んでいきました。人とすれ違ふ時は、どうしたらよいか、山の中で用を足したくなくなったらどうしたらよいか。大人も学びになりました。上から見た芦ノ湖の景色は格別です。富士見ヶ丘公園では、温かいスープと美味いお弁当でパワーチャージ。そして、お菓子交換で楽しい時間になりました。小さな蛙を見つけて触ってみたり、鹿の糞や足跡を発見したり、山の中の自然とも触れてきました。「帰りはほんどん帰るよ。」と金子さんに励まされ、本当にあつという間に下山できました。今回の経験で、「次は大文字山に登る！！」と意気込んでいる4人です。園児でも歩ける山が近くにあることも箱根の魅力の一つだと思ひました。



### 秋の音楽会

運動の秋・食欲の秋・芸術の秋…ということで、10月14日(土)に箱根幼稚園で音楽会が行われました。子ども達のリクエスト曲「ホール・ニューワールド」や「トルコ行進曲」を箱根町学校教育課の小野さんがピアノで演奏してくださりその音色に聞きこんだり、「さんぽ」や「ドレミの歌」を一緒に合奏をしたり、伴奏に合わせて歌ったりしました。幼稚園の年長さんは今「ねこふんじゃった」に興味を持ち、遊びの中で友だち同士教え合ったりしています。小野さんや小学生を含めて年長さんは一緒に「ねこふんじゃった」を弾いてみました。何人か小学生も参加してくれて、保護者の方と一緒に素敵なピアノ演奏を聞かせてもくれました。小野さんからお姉さんやお兄さんの影響を受け、5歳からピアノを習ったことを聞くと、「自分もやってみたいな。」という声がたくさん聞かれました。ピアノに対しての憧れを抱き、やってみたいことが増えたようです。最後は、芦之湯のきのくにやさんから頂いた温泉で、みんなで足湯に浸りました。「たまごのにおいがする。」硫黄の香りにそう表現した子ども達。素敵な演奏と温かい温泉で身も心もほっこりとした時間になりました。「こんなことができるわよ。」子ども達に聞かせたい、見せたいものがありましたら、地域の方もお声掛けください。楽しみにしています。



地域の方から、玄関には香りのいい金木犀とジャンボかぼちゃ、そしてクロアゲハの蝶の幼虫が届きました。いつもお心遣いいただきありがとうございます。







# すすきのこ 10月

箱根教育合言葉 箱根を愛し かしく・やさしく・たくましく

5歳児交流にて



令和5年10月20日(金)

箱根町立仙石原幼児学園

## 5歳児交流

毎年、箱根の町立園の5歳児が集まり一緒に活動をする5歳児交流を年3回行っています。今年は、各園を知るところを目的に1回目は、宮城野保育園。2回目は仙石原幼児学園。3回目は湯本幼児学園で行なうことにしました。

2回目は、10月19日に行ないました。はじめの会では、4園混合の色別チームに分かれ、綱引きをしました。チームごとに作戦を立て、人数が合わない時は、他の色の子どもが立候補で、助けたり、子ども同士で並び順を考えたりしながら進めていく姿があり、1回目よりも成長を感じる場面がたくさんありました。その後は、さくら組の部屋、図書コーナー、ホール、園庭など好きな場所で、遊びました。同じ園の友達と遊ぶ姿もありましたが、他園の友達と仲良くなって遊ぶ姿もいて名前を呼び合う姿もありました。3回目はさらに子どもたちが主体的にいろいろな友達と遊びを進めていけるよう4園の5歳児担任が集まって計画を立てていきたいと思っています。

10月も後半となり朝夕の涼しさに秋の深まりを感じています。園庭の畑やプランターには、年長さんが種まきをして、人参とブロッコリー、大根が芽を出し、ぐんぐんと伸び始めています。12月ごろ収穫予定です。今年は、猛暑でしたが、夏野菜も育ち、冬野菜も順調です。今まで仙石原では、収穫が難しかった野菜も突り、温暖化に少し、感謝しています。自分で育てた野菜。皆で食べると味もひとしおですよ。人参や大根は食育で使って食べたいと思います。先日、芋ほり遠足に行きました。次の日「お芋ご飯にして食べた」「私は天ぷら」とおいしかったと報告がありました。芋ほりの後に行った御殿場中央公園は駐車場があり、富士山が目に見える素敵な公園です。仙石原からなら20分位で着きます。秋を探しに親子で出かけてみてください。

寒暖差が激しく、咳や鼻水、微熱等風邪が流行っています。感染症の連絡はありませんが、流行っている地域もありますので、体調が悪い時は、無理をせずお休みや受診してからの登園をお願いします。

## お願い

・11/8に本園において、今年度2回目の講師を招いての研修会を行ないます。幼児クラスの14時降園にご協力よろしくお願いたします。(就労のための保育はできますのでお伝えください。)

## 運動会「スポーツフェスティバル ～ムキムキ ドキドキ パワー～」 10/6

今年度の運動会は、親子で運動遊びを楽しんでほしいという願いをもち、親子参加型を中心にしたプログラムにし、各クラスごと1時間弱の内容で入れ替え制で3部にわけて行いました。

第1部は、4歳児ゆり組でした。虫が大好きな子ども達に合わせて昆虫太極拳で、精神統一。心を一つに合わせたところで、競技を進め、おんぶバツリレーでは、背中の子もバツが飛び跳ねる勢いで大人の本気の勝負が見られ、最後のリレーでは、親子勝負でしたが、涙あり笑いありでした。7つのプログラムがあっという間に感じる程、親子が全力で楽しむ会となりました。

第2部は、3歳児もも組です。もも組は、好きなキャラクター(ピカチュウ、うさぎ、マックイーン等)になりきり、マイクパフォーマンスで、自己紹介してからスタートしました。アスレチック、しっぽとり、リレーを親子で楽しみ、最後は、親子でダンスタイムをしました。親子でずっと過ごせたのが嬉しくて終始笑顔のほっこりする温かい会となりました。

最後は、5歳児さくら組です。子どもたちが話し合いを重ね「ムキムキ、ドキドキ、ぱわー！」のテーマを考え、お家の人や1年生とどんな種目をやりたいか等担任と相談しながら運動会を考えてきました。遊びの中で生まれた競技、遊びながら挑戦していたものをプログラムに取り上げていたので「練習なんてしなかった」といっている子どももいましたが「なわとび」「とびばこ」「鉄棒」などは、何度も挑戦し積み上げてきたものもあります。司会係、スタート係、ならばせる係、ルール説明係、ゴールテープ係、体操係とそれぞれに役割がありました。また自分たちの競技の準備や片づけを行い、競技だけではないいろいろな場面で子ども達一人一人が力を発揮できる場所があり、成長を感じることができましたね。パラバルーンで気持ちを一つに演じる姿や親子で、力を合わせて取り組む姿に自信がみられとても輝いていました。思い出に残る素敵な会となりました。

当日は、お忙しい中参加していただき、ありがとうございます。当日の子ども達の張り切る姿、笑顔に改めて、親子の絆、保護者の見守りに支えられていると感じた一日でした。保護者のアンケートにも「ひとりで頑張れないことも親がいることでもうひと頑張りできることが親子参加型の良さだと感じた。」「親も本気で子どもと遊ぶことがなかなかできないので良い機会となった。」「子どもの頑張る姿を間近に見られてよかった」等と感想をいただきました。次年度に生かしていきたいと思っています。まだ提出されていない方は、アンケートのご協力よろしくお願いたします。





## 二級河川早川における測量調査のお知らせ

日ごろ県土整備行政にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。

この度、二級河川早川において、河川整備の検討を行うため、河川内の測量調査を行いますのでお知らせします。

調査箇所は三カ所に区切り、それぞれ下記の業者が調査に入ります。

皆様には調査期間中、ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

調査箇所 足柄下郡箱根町仙石原地先 ※詳細は裏面をご覧ください。

調査期間 令和5年11月末から  
令和6年1月末まで（予定）  
※調査状況により、期間が延びることがあります。

作業時間 午前9時から午後5時まで

①受注者 株式会社アトラス 担当：中村  
Tel：0465-20-5434

②受注者 三洋測量設計株式会社 担当：八木下  
Tel：0465-36-2393

③受注者 株式会社小田原測量設計 担当：瀬戸  
Tel：0465-34-4366

発注者 神奈川県県西土木事務所小田原土木センター  
担当：河川砂防第一課 込山  
Tel：0465-34-4141 内線512

その他 調査にあたり、皆様の所有地に立入って作業をすることがあります。  
その際は、事前に連絡させていただきますので、ご協力の程よろしく  
お願いいたします。

※作業員は「神奈川県」と記載した緑色の腕章をつけています。

# 《調査位置図》







## 地域猫のエサやりなどについて

大平台地域では平成 30 年度に大々的な TNR を行いました。TNR を行う際の取り決めとして、TNR した猫を地域猫として終生その地域で見守るということです。

しかし、近年、エサやりなどに関する苦情が町に入ってきています。エサやりをするということは、エサをあげて終わりではなく、エサをあげて、食べ終わったあとの片付までが、エサやりです。かわいそうだからと無責任なエサやりはやめましょう。エサをあげたままにしていると、カラスやイノシシなどが寄ってきたり、悪臭の原因になったりします。適切なエサやりにご理解をよろしくお願いいたします。

適切なエサやりやふん尿の処理など、地域の皆さんで協力し、一代限りの命を守っていきましょう。

◆大平台地域では、平成 30 年度に猫を 44 匹 TNR をしました。6 年経った現在、見受けられる猫数は、だいぶ減ってきました。野良猫の寿命は約 3～5 年とされているので、地域の皆さんはあたたかい目で見守っていただきますようお願いいたします。（当時の活動については、平成 30 年 7 月号の広報はこねで確認ができます。町 HP をご覧ください。）



平成30年7月号 (抜粋)

～地域の皆さんでもう一度確認しませんか？～

### ○エサやりについて

エサやりの場所や時間を決め、清掃・管理をしましょう。

※残ったエサをそのままにしまうと、イノシシやカラスなどが寄ってきたり、悪臭の原因になります。

※エサやりをやめてしまうと、ゴミなどをあさるなど被害が拡大します。

### ○トイレのお世話について

トイレの設置場所を決め、清掃・管理をしましょう。

※トイレの場所を定めることにより、庭などにふん尿をすることが少なくなります。



◆耳がカットされていない猫を見かけたら、環境課までご連絡をお願いします◆

照会先：環境課美化保全係 電話（85）9565



年 月 日

小涌谷地区の皆様へ

宮ノ下地区の皆様へ

大平台地区の皆様へ

箱根登山鉄道株式会社

鉄道部

駅営業体制の変更について（お知らせ）

平素は、弊社業務に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

さて、このたび弊社では、昨今の鉄道を取り巻く環境を見据え、下記のとおり駅営業体制を変更させていただきます。ご利用のお客さまにはご不便をお掛けする点もございますが、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

記

1. 実施日 2024年2月1日（木）始発より

2. 変更内容

(1) 駅係員対応時間

対象駅	現行	変更後
宮ノ下駅	9:00～16:50	終日駅係員無配置
小涌谷駅	9:30～17:00	終日駅係員無配置

(2) 係員の巡回

自動券売機の締め切り作業や構内清掃・見回りのため、強羅駅係員が毎日1回巡回します。

(3) 駅係員不在時間の対応

- ①自動券売機は始発から終電までご利用いただけます。（ICカードのチャージも可能です）
- ②使用済みの乗車券は、改札付近に設置した乗車券回収箱にて回収いたします。
- ③駅窓口付近に強羅駅係員と通話可能な専用電話を設置しております。運賃精算のご案内や、車いす等お手伝いが必要なお客さまとの連絡手段を確保しております。
- ④大幅な列車遅延等が発生した場合には、強羅駅より一斉放送装置で案内放送を行います。
- ⑤当該2駅ともに監視カメラを設置しており、主管駅である強羅駅をはじめ社内主要各所においてリアルタイムでの状況確認が可能です。
- ⑥車いすのご利用等お手伝いが必要なお客さまは、基本的には予約制とし、ご利用日に強羅駅係員を派遣し対応します。ご予約なくご利用の場合、少々お待ちいただければ強羅駅係員を派遣して対応します。

連絡先：強羅駅 TEL 0460-82-2049



(4) お客さま案内サインの追加

駅係員不在による、お客さま案内の低下を補うため、駅構内に「のりば案内」「バス停案内」「運行情報 HP リンク」「専用電話案内」等のサインを追加設置いたします。

3. お問い合わせ先

箱根登山鉄道株式会社 鉄道部 TEL 0465-32-6823

営業時間 9:00～17:00(土曜・休日・祝日を除く)

以 上